

衆議院農林水産委員会ニュース

【第198回国会】平成31年4月9日（火）、第5回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・吉川農林水産大臣、濱村農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）上杉謙太郎君（自民）、長谷川嘉一君（立憲）、金子恵美君（立憲）、稲津久君（公明）、緑川貴士君（国民）、関健一郎君（国民）、田村貴昭君（共産）、森夏枝君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

上杉謙太郎君（自民）

- （1）水不足が懸念される福島県羽鳥ダムにおける用水対策
- （2）農林水産物の物流拠点としての地方空港の活性化の在り方
- （3）最近の主食用米の消費の推移
- （4）学校給食関係
 - ア 米飯を用いている割合
 - イ 米飯の頻度をさらに上げていくことへの文部科学省の意気込み
 - ウ 政府備蓄米等と関わる農林水産省による米飯学校給食への取組
- （5）福島県産米の全量全袋検査を2020年をめどにモニタリング検査に移行するととの福島県の決断を国としてサポートすることへの農林水産大臣の見解

長谷川嘉一君（立憲）

- （1）豚コレラ関係
 - ア 発生していない地域における対応策
 - イ アフリカ豚コレラ等に対して実効性のある水際対策強化の在り方
 - ウ 野生イノシシへの経口ワクチンの散布関係
 - a 散布の効果の確認状況
 - b 散布対象地域に対する考え方
- （2）主要農作物種子法（以下「種子法」という。）廃止関係
 - ア 廃止から約1年が過ぎた現状の認識
 - イ 強引な政権運営のひずみであるとする論説（平成31年1月25日『日本農業新聞』）に対する所見
 - ウ 当時の国会審議についての農林水産大臣の所見
- （3）食料自給率関係
 - ア 目標を設定する意義
 - イ 次期食料・農業・農村基本計画における目標設定の考え方

金子恵美君（立憲）

- （1）復興に向けた取組を発表するため農林水産省を訪問した福島県立相馬農業高等学校の生徒との交流に係る農林水産大臣の所感
- （2）日米物品貿易協定（TAG）交渉関係
 - ア 米国通商代表部による2019年外国貿易障壁報告書についての農林水産大臣の所見及び交渉において我が国の農畜産業を守ることを確認
 - イ 交渉に臨むに当たっての農林水産大臣の決意
- （3）食料・農業・農村基本計画関係

- ア 諮問の時期を変更した理由
 - イ 意見聴取の対象者選定の考え方
 - ウ 農林水産業・地域の活力創造プランと食料・農業・農村基本計画の関係
 - エ 農政改革の方向性を食料・農業・農村基本計画の見直しの前提とすることの確認
 - オ 次期食料・農業・農村基本計画の方向性についての農林水産大臣の所見
- (4) 第3次食育推進基本計画の進捗状況についての農林水産大臣の所見及び学校給食における地場産品等の活用に向けた取組

稲津久君（公明）

- (1) 野生イノシシへの豚コレラ経口ワクチンの散布状況と期待される効果
- (2) 輸入禁止畜産物の違法持込みへの対応の厳格化の内容と効果
- (3) 子供の朝食の欠食関係
 - ア 子供の朝食の欠食状況及び文部科学省の対策
 - イ 食育の観点からの子供の朝食の欠食対策についての農林水産省の取組

緑川貴士君（国民）

秋田県の八郎湖における水質問題関係

- ア 国営の八郎潟干拓事業を踏まえた農林水産大臣の所感
- イ 地元から期待されている防潮水門の開放による水質改善に対する農林水産省の見解
- ウ 水稻の無代かき栽培を行う農家への支援の検討状況
- エ 農地の集積、規模拡大が進む状況における無代かき栽培の重要性

関健一郎君（国民）

豚コレラ関係

- ア 殺処分の対象となった農場の生産者への切れ目ない支援及び殺処分に当たった職員の心身のケアの必要性についての農林水産大臣の所感
- イ 豚コレラの発生状況についての農林水産省の認識
- ウ 無秩序な発生状況ではないことの確認
- エ 豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針における緊急ワクチン使用に係る「感染拡大の防止が困難と考えられる場合」の具体的内容
- オ 愛知県瀬戸市で発生した事例と野生イノシシでの感染が確認されている地域との関係
- カ 飼養豚へのワクチン接種のデメリット

田村貴昭君（共産）

種子法廃止後の問題点関係

- ア 自治体における種子条例の制定及び種子法に関する意見書の提出についての状況確認
- イ 種子条例において廃止された種子法よりも対象作物を拡充している状況についての農林水産大臣の見解
- ウ 自治体の自発的な取組を尊重するかどうかについての農林水産大臣の見解
- エ 種子法廃止後の都道府県の役割等を示した事務次官依命通知関係
 - a 都道府県による種子に関する業務を過渡的なものとしている通知を撤回する必要性
 - b 自治体の自主的な取組の尊重と通知の内容が矛盾しているとの考えに対する見解

オ 種子を民間に委ねることが長期的に外資系事業者の独占、価格上昇、農家の経営圧迫につながる
との懸念に対する見解

カ 民間開発の種子のシェアが伸びて価格が上昇するとの懸念に対する農林水産大臣の見解

森夏枝君（維新）

- (1) 今後使用しないため池を防災対策として利活用できる可能性
- (2) 農林水産関係の補助金の不正受給関係
 - ア 具体的な予防策
 - イ 不正が発覚した際の対応策
- (3) 農林水産物のブランド化関係
 - ア 農林水産省による支援の内容
 - イ 成功事例の具体的な内容

2 豚コレラをはじめとする家畜伝染病対策に関する件

- ・野中厚君外5名（自民、立憲、国民、公明、共産、維新）から提出された豚コレラをはじめとする家畜伝染病対策に関する件の決議案について、提出者佐々木隆博君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成—自民、立憲、国民、公明、共産、維新）
- ・吉川農林水産大臣から発言がありました。

3 農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第23号）

- ・吉川農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。